

招 集 期 日	平成 2 8 年 8 月 4 日 (木)		開会の場所	羽生市立図書館
開会の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 3 時 5 0 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	春 山 教 子 委 員	出 席	
岩本一盛教育長職務代理者	出 席	柿 沼 拓 弥 委 員	出 席	
古 市 明 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	栗原学校教育課長
	小島学校給食センター所長	池澤生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会		8 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会		
日 程 第 1 前 回 会 議 録 の 承 認	教育長	<p>教育委員会の会議は原則公開であるが、人事に関する事件、その他の事件について出席委員の3分の2以上の多数で議決した時は、公開しないことができる。今回の日程で、非公開とすべき案件はないためすべて公開としてよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>		
	教育長	<p>7 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 の 承 認 に つ い て 諮 っ た。</p> <p>異議なしの声あり</p>		
	教育長	<p>前 回 会 議 録 は、承 認 さ れ た 旨 宣 し た。</p>		
	教育長	<p>報 告 事 項 1 に つ い て、学 校 教 育 課 長 か ら 説 明 を 求 め た。</p>		

会議事件名	て ん 末	
日程第2 報告事項1 平成28年度教科書展 示会の結果について	学校教育課長	6月17日から7月4日までの期間で羽生北小学校内の羽生市教科書センターにて開催した。来場者数は363人であり、昨年度の498人より少ないが、昨年度は中学校の教科書採択の年であったため、来場者数が多かったと捉えている。
報告事項2 第19回羽生市吹奏楽フェス ティバルの開催について	教育長	報告事項2及び3について、生涯学習課長から説明を求めた。
報告事項3 平成28年度羽生市人 権教育指導者研修会 の開催について	生涯学習課長	10月2日に産業文化ホールにて開催する。参加団体は市内の3中学校、羽生第一高校及び誠和福祉高校を含む計11団体を予定している。
報告事項4 チャレンジtheスポ ーツ2016の結果につ いて	生涯学習課長	9月3日から11月12日の期間で全5回の研修会を開催する。10月29日に予定している「ネットいじめと人権」については昨年の参加者アンケートで興味・関心が高かったテーマである。3回以上受講された方を研修修了者とし、修了証を授与する。
報告事項5 平成28年度トップアスリート 育成事業 羽生市バスケット ボール教室の開催について	教育長	報告事項4から7について、スポーツ振興課長から説明を求めた。
	スポーツ振興課長	7月2日に羽生市体育館にて開催した。参加者は小学生19名、65歳以上32名を含む104名であった。体力測定を実施した後に健康づくり推進課とのタイアップである健康チェックを行い、フロアカーリングやスポーツ吹き矢などニュースポーツの体験をした。参加者からは自己の健康状態、体力を認識することができ、今後の生活を改めるきっかけになったとの意見をいただいた。
	スポーツ振興課長	今年度2回の開催を計画しており、その第1回として9月3日に羽生市体育館にて開催する。市内小中学校の児童生徒、指導者及び保護者を対象とし、B.LEAGUEの埼玉ブロンコスから7名の選手を先生として招く。第2回は12月に開催予定である。

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項6 第34回羽生市教育長杯争奪 中学野球大会の開催について</p>	スポーツ振興課長	<p>9月10日、11日の日程で中央公園野球場にて開催する。市内3中学校と、さいたま市、熊谷市、加須市、行田市、三郷市よりそれぞれ1校、計8校が参加する予定である。</p>
<p>報告事項7 第30回記念 羽生市 民体育祭の開催につ いて</p>	スポーツ振興課長	<p>10月23日に中央公園陸上競技場にて開催する。今回は第30回記念となり、記念事業として埼玉県警察音楽隊、カラーガード隊による音楽演奏及び演技と、大東文化大学陸上競技部による短距離走のデモンストレーションを行う予定である。競技方法は総合優勝制とし、地区対抗種目による合計得点により順位を決する。</p>
<p>報告事項8 図書館・郷土資料館開館30 周年記念「図書館・郷土資 料館まつり」の結果について</p>	教育長	<p>報告事項8及び9について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項8 図書館・郷土資料館開館30 周年記念「図書館・郷土資 料館まつり」の結果について</p>	図書館長兼郷土資料館長	<p>7月16日に羽生市立図書館・郷土資料館にて開催した。内容は、昔の遊び体験や昔がたり、遊び唄、大道芸、人形劇、琵琶演奏や朗読等を行った。郷土資料館の展示室で開催した企画展と合わせて延べ1255人が来場し、いずれの企画も好評であった。</p>
<p>報告事項9 開館30周年記念パネル展 示「郷土資料館30年を振 り返る」の開催について</p>	図書館長兼郷土資料館長	<p>図書館・郷土資料館の開館30周年記念事業の一環として、開館当時の写真や当時のリーフレットや新聞記事等を展示し、30年を振り返るものである。開催期間は、前期が9月17日から10月2日、後期が12月5日から12月28日の予定である。</p>
	教育長	<p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p>
	古市委員	<p>チャレンジ the スポーツについて、健康づくり推進課とのタイアップを、もう一步進めてはどうかと思う。例えば共催の形をとれば、実施計画の段階から健康づくり推進課と進めることができる。健康チェックや指導を受けたいという市民のニーズと、健康</p>

会議事件名	て ん 末	
	スポーツ振興課長	<p>づくり推進課には単独では人を集めづらいという課題がある。チャレンジ the スポーツには多くの来場があるが、市民の健康にどう繋げたらいいか、最終的な目的は健康づくり、健康増進であるため、計画段階から協力し合えば、目的に合致した事業に発展するのではないかと思う。</p>
	春山委員	<p>会場となるメインアリーナに隣接した会議室を使い健康づくり推進課の職員による各種健康チェックを行った。スポーツにはもちろん、健康チェックに非常に興味を持って来られる方も多く、その進め方等についても健康づくり推進課と調整を行ってきた。今後も事業の内容やPRについてより一層充実できるよう、さらに連携を深めたい。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>開館 30 周年記念の図書館・郷土資料館まつりについては、子ども達の遊べる場所もあり、大人も楽しめる催しもあり、より多くの人達が図書館に来る良い機会になったと思う。これからも盛り上げていただきたい。</p>
	古市委員	<p>琵琶の演奏などは今回初めて行った企画であるが、来場者からは好評であり、来年もやってほしいという声もあった。琵琶の先生に話したところ、是非やりたいと言っていたので、再度の実施を検討したい。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>昔の遊び体験で、市民学芸員の人達が子ども達や誠和福祉の高校生に元気をもらっていると言いながら、にこやかに一生懸命活動していたことが印象に残った。</p>
	教育長	<p>当日は 13 名の市民学芸員にお手伝いいただいた。誠和福祉高校の女子生徒は 14 名参加したが、市民学芸員は若い世代と活動することを楽しみにしている。郷土資料館の調査員が誠和福祉高校に、昔のあそびを教えに行ったりしていることもあり、学校には快くボランティアを引き受けていただいた。</p> <p>昔の遊び体験を見たが、高校生が次世代の羽生の子ども達へ伝承するというとても良い催しであり、小学校に入る前の子どもか</p>

会議事件名	て ん 末	
	柿沼委員	<p>ら大人まで本当に楽しそうな姿を見ることができた。高校生をボランティアで入れることの意味がすごくあった。</p> <p>羽生市吹奏楽フェスティバルについて、花咲徳栄高校が参加されるとのことだが、夏の甲子園出場校であり、知人が春日部共栄高校との試合の応援合戦が見事であったと話していた。市内の3中学校や行田の市民吹奏楽団の参加も併せて見ごたえのあるものだと思う。</p>
	古市委員	<p>フェスティバルを盛り上げるために、例えばゲスト演奏等で著名なオーケストラを呼んだりすることができれば、市民がもっと足を運んでくれるのではないかな。</p>
	生涯学習課長	<p>来場者に最後まで聞いていただけるよう花咲徳栄高校はプログラムの一番最後としている。オーケストラを招く案も指定管理者と相談し、より良い事業となるよう検討したい。</p>
	岩本委員	<p>教育長杯争奪中学野球大会について、近隣中学校野球部の交流を深めることを趣旨としているが、遠方の学校の参加もある。参加校はどのように決められているのか。</p>
	スポーツ振興課長	<p>この大会はスポーツ少年団の中等部の役員が運営、企画している。長年の付き合いの経緯で、さいたま市や三郷市等遠方から参加していただけるとの事である。</p>
	生涯学習部長	<p>羽生市の3中学校のレベルが上がってきて、それぞれの学校が県の大会等で良い成績を収めている。練習試合等を行っている中で、羽生市の学校と試合をしたいという声が指導者のところに集まり、参加校を決めている。来ていただける学校はいずれもレベルが高いと聞いている。</p>
	教育長	<p>トップアスリート事業等長年行っていることで、子ども達の野球の技術が向上し、羽生市の知名度も上がってきたのではないかな。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 平成28年度（平成27年度事業対象）羽生市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書（案）について</p>	古市委員	<p>市民体育祭については、雨天で体育祭が中止になった場合に第30回記念ということで来てくれる県警の音楽隊等がもったいないと思う。屋内で演奏だけでもすることや、屋内でも出来るスポーツを実施する等、雨の時の企画を用意しておくことは可能か。</p>
	スポーツ振興課長	<p>通常の大会であると、雨天でグランドコンディションが悪いと中止という事になるが、今回の記念大会は県警音楽隊や大東文化大学に来ていただく非常に良い機会であるため、体育館のメインアリーナ等を使い、何か実施できるよう検討したい。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1について、教育総務課長より説明を求めた。</p>
教育総務課長	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいて、昨年度の教育委員会事務の管理及び執行状況について学識経験者の知見を活用し、点検評価を行っている。報告書は議会に提出すると共に公表を義務付けられている。主に昨年度と相違する点について説明する。</p> <p>1 信頼される学校づくりの推進 (1) 生きる力をはぐくむ学校教育の推進についての取組は、「思考力・判断力・表現力育成活動事業」においての「羽生市小・中学校プレゼンテーションコンクール」の開催、「中学校ICT活用推進事業」における、中学校3校へのタブレットPCの整備、「羽生市学びあい夢プロジェクト協議会事業」での埼玉純真短期大学及び県立高校、保育所、保育園等の教育機関が相互に連携した様々な取組み等を行った。これらに対し、「プレゼンテーションコンクール」では、児童生徒の表現力の向上を図ることができた。ICT活用推進事業としては、児童の発達段階に合わせたタブレットPC活用のカリキュラムを策定することができた。「学びあい夢プロジェクト事業」では、発達段</p>	

会議事件名	て ん 末
	<p>階を生かした教育、系統性を生かした教育の推進を図ることができた」と評価した。(2) 教師力・学校力の向上についての取組では、人事評価制度を活用して個々の力量を高めるとともに、得意分野の伸長を図った。「小林秀三教育賞」、「平成の田舎教師育成塾事業」では、教師力を指導し、実践的な授業力の向上を図った。また、スクールソーシャルワーカーを導入し、各学校の教育相談機能を強化した。これらに対し、「小林秀三教育賞」「田舎教師育成塾事業」では、意欲や指導力を高め、教師力の向上に努めることができた。スクールソーシャルワーカーの導入については、教育相談機能の向上に大きく寄与したと評価した。(4) 学校給食の充実と食育の推進についての取組は、地産地消の観点で、地元の生産物を使った季節感溢れる給食を提供し、食育推進事業に関しては、栄養教諭による児童・生徒に対する健康推進のための指導を行った。施設の面では、学校給食センターの老朽化が進んでいるため計画的な設備の更新を行った。これらに対し、今後も安全、安心な結果を提供するために、定期的な調理器具、機材の定期的な更新が重要であると評価した。(5) 教育環境の整備・充実についての取組は、コンピューターネットワークに関して、小中学校を対象とした情報セキュリティ監査及び教職員研修を実施し、また情報管理の状況把握と危機管理意識の向上を図った。学校図書に関して、図書標準に達していない学校については予算の特別配当を行った。これらに対し、全教職員がパソコンを使用できる状況であるため、情報セキュリティ対策への重要性を考えていくこと、教職員の校務負担軽減のため、ファイルサーバーや校務用ソフトウェアを効率的に使用できる環境を整備していく必要があると評価した。(6) 安全・安心な学校づくりについての取組は、新郷第二小学校の大規模改修をはじめ、須影小学校及び羽生南小学校の体育館の改修工事、須影小学校及び川俣小学校の受変電設備改修工事を行ったほか、計画的に施設の改修を実施するため、新郷第一小学校及び西中学校の校舎大規模改修工事の実設計を行った。これらに対し、平成 21 年度より始めた校舎の大規模改修工事は累計 9 棟が完成し、災害等、地震発生時の体育館の安全対策は累計 4 棟が完成したと評価した。</p> <p>3. 生涯学習の推進と文化活動の活性化 (1) 市民の学習機会の充実についての取組は、公民館の自主講座の充実に努め、子ども向</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>けや親子で参加する新規講座を開催した。さらに、村君公民館の耐震補強等工事の実施及び中央公民館の長期保全計画を策定した。これらに対し、公民館事業では、より一層の家庭教育に関する学習機会の提供が求められており、公民館においては、長寿命化を進めていく必要があると評価した。(2) 生涯学習環境の整備・充実についての取組は、公民館を中心とした地域実情に応じた文化・教養・健康づくり等を実施した。また、自治会や子ども会育成会の協力による地域力を活用した事業も展開し、川俣、手子林公民館では通学合宿「むじなもん学寮」を行った。「子ども大学はにゅう」でも、純真短期大学をはじめ各団体と連携して、子どもの学ぶ力、生きる力を育む事業として実施した。これらに対し、地域の方が参加しやすい内容を企画し、新規受講者の開拓を進めることが必要であると評価した。(3) 図書館・郷土資料館の充実についての取組は、図書館電算システムの更新に伴い、デジタルサイネージ（電子掲示板）を使用したサービスの向上を図った。郷土資料館では、郷土に残る文化遺産の普及に努め、郷土の歴史に対する学習意欲を高めた。これらに対し、図書館では新しいサービスや便利な機能を広く知ってもらうため広報活動に積極的に取組むことが必要であり郷土資料館の企画展では興味を持っていただけるよう質の高い展示を考えて行く必要があると評価した。(4) 文化財の保護・活用と芸術文化の振興についての取組は、宝蔵寺沼ムジナモ自生地では、保存管理計画に基づき自生地の保護に取組み、見学会を開催した。永明寺古墳においては、県指定を受けた記念に講演会を行った。また、市指定無形民俗文化財に関しては「第8回郷土芸能発表会」を開催し、過去最高の8団体が出演し、多くの来場者で賑わった。これらに対し、ムジナモ自生地ではムジナモが順調に増殖し、野生復帰に向けて着実に進んでおり、永明寺古墳については、今後の展開を大いに期待する。「郷土芸能発表会」では、団体の交流が深まることで技術の向上につながり、後継者の育成に弾みがつくことが期待されると評価した。(5) 青少年の健全育成の推進についての取組は、高校生インストラクター講座において、高校生が地元住民と関わる機会の提供を図った。これに対し、パソコン教室を通じ、地域住民からは高校生に教えてもらうことで、講座を身近に感じられ、講師となる高校生からは、教えることで自分の知識が確かになると満足</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>度の高い事業になったと評価した。</p> <p>4. 生涯スポーツの振興 (1) スポーツに親しめる環境づくりについての取組は、羽生市体育館の電気・機械設備等改修工事を行い、老朽化した設備の改善を行った。これに対し、災害時の避難所機能が向上し、体育館が安全・快適に利用できるようになったと評価した。(4) 優秀なスポーツ選手の育成についての取組は、トップアスリート育成事業で野球教室及び体操教室を実施した。これに対し、トップレベルの選手の技術を間近に感じられ、子どもの成長期に必要なとされるトレーニングなどを分かり易く指導いただくことができたと評価した。</p> <p>この点検評価報告書に対し、埼玉純真短期大学の藤田学長から意見をいただき、意見書を添付している。</p> <p>教育長 協議事項1に関して質問・意見を求めた。</p> <p>古市委員 学校図書館の蔵書について、図書標準を達成するため重点的に予算を配当したとのことなので、図書標準は近年中に達成できると思う。図書館整備には学校司書の力が大きいと思われるが、現在の活動はどのような状況か。</p> <p>教育総務課長 学校司書から意見を伺いながら図書の購入や配置を進め、図書標準達成を目指している。</p> <p>学校教育課長 学校司書は各学校に週1、2回行っているが、その際蔵書を精査し、古い本等を廃棄している。図書標準を達成できそうでできない現状であるが、質を高めながら進めている。</p> <p>古市委員 図書室に来た人が自分で本を探すよりも、学校司書が助言し導いてくれる形が理想的だと思う。学校司書は全部で何名か。</p> <p>学校教育課長 5名である。</p> <p>教育長 昼休みに放送を入れて、今日は司書が来ていると知らせる。新</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p>学校教育部長</p> <p>古市委員</p> <p>柿沼委員</p> <p>春山委員</p> <p>教育総務課長</p>	<p>しい本等を紹介することにより子ども達が本をより借りやすくなり、本好きになる。司書の役割を果たしている。</p> <p>ここ数年で学校司書の配置人数を段階的に増やしてきたが、成果として総合的な学習の時間や社会、理科等の教科の調べ学習やレファレンスサービスが全体的に向上している。</p> <p>授業についていけない子どもが保健室に登校してくる例があるそうだが、図書室も保健室と同じくらい、子ども達にとって居心地の良い所、守ってくれる所、そして勉強もできる場として、色々な子が図書室にきてくれれば良いと思う。</p> <p>学校司書と話す機会があったが、いくつかの小学校を廻っており、学校によって差異はあるが、子どもの本を読む環境づくりを積極的にやりたいと言っていた。ソファを置く、あるいは畳を敷いたりして落ち着ける環境、また、古い本が多いため、新しい本に買い替えたいとのことだった。学校ごとに図書カードを発行する学年が違い、低学年は教室ごとの学級文庫での貸出をしていたりするそうだが、学校による形態の違いにも学校司書は対応しており、学校司書の力は大きいと感じた。</p> <p>この点検評価報告書では、昨年度の事業がどうであったかと適確に評価されていると思う。まとめるのは大変な労力であったと思われるが、全体が把握でき有難い。それぞれの部署で、それぞれの担当者が全力で頑張ったおかげで、この成果がでていていると感じた。資料編の児童・生徒数の推移については、極端ではないが減少傾向を辿っている。今後のことを考えると、羽生市でこれからどのような教育を行っていくか大きな課題があるかと思う。学校、地域、家庭、それ以外との連携をどのようにしていくか、例えば、グランドデザインでは生涯学習部と学校教育部の融合と表わされているが、具体的に何をするかを打ち出すと良いのではと考えた。</p> <p>児童生徒数の推移をふまえた形で今後どのような対応ができるかは、教育の内容や施設の管理等を含め効率の良い形となるよう</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>な対策を具体的に考えていくことだと思われる。当然予算面の課題もあるが、今後検討し、教育委員会に提示していく。グランドデザインでの「融合」の2文字に秘められた連携の対策を表示できるように案を練っていきたい。</p> <p>古市委員 信頼される学校づくりの推進のうち教師力・学校力の向上の中で指導主事100回訪問があるが、指導主事の努力が今の羽生市の教育を支えていることを如実に語っている取組であると思った。引き続き教師力・学校力の向上に尽力していただければと思う。</p> <p>学校教育課長 「100回訪問」となっているが、実際には150から200回近く訪問している。今年度は訪問の中身についてさらに質を高めたい。</p> <p>岩本委員 法律に基づき点検評価が行われているが、これを次年度に活かし、繋げていくことが大切であると思うが、そのことがこの報告書では書かれていない。ただ、平成27年度の点検評価をするのは平成28年度に入ってからであり、報告書は今の時期にとりまとめられている。タイムラグが生じ、今年度にそのまま活かすことが難しいかもしれないが、将来の展望や児童・生徒数の問題等、時間により変化することも指摘されており、そのようなことも報告書の中に記述されることが望ましいのではないか。PDCAサイクルを実施し、平成27年度の点検評価が、平成28年度の事業にどのように活かされているか。</p> <p>生涯学習課長 3生涯学習の推進と文化活動の活性化における(1)市民の学習機会の充実のところ、公民館で親子向けの事業を実施し、子育て世代の交流促進に取組み、家庭教育に関する学習機会の提供が求められていると評価した。これに対して今年度は夏休みに「おやこらぼ」と題し親子が触れ合いながら学ぶ体験学習講座を企画したり、NPO法人の力を借りて、「キャロットクールシェア」等を行っている。「子ども大学はにゅう」についても、市内事業者等の協力者を増やし、事業に取り組んでいる。また、(4)文化財の保護・活用と芸術文化の振興の中でも、宝蔵寺沼ムジナモ自生地では、今年度はムジナモ現地見学会を花の咲く時期にしたところ、運よく花が咲いたところを見学できた。前年度までの調査等を踏</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育総務課長	<p>まえ環境整備を行い、ムジナモの株数も10万株まで増えた。報告書には明記されていないが、前年度事業の点検評価を活かし、次の課題に向けて取組んでいるところである。</p>
	春山委員	<p>報告書の作り方について、次年度での取組に繋がるよう表示する形態も工夫のひとつとして、今後検討したい。</p>
	生涯学習課長	<p>資料編に教育委員会の機構と事務分掌が掲載されているが、この中に幼児から義務教育が終わるくらいまでの家庭教育という分野はあるか。</p>
	教育長	<p>生涯学習課生涯学習系の「社会教育」という枠の中で家庭教育が含まれていると思う。これまで青少年健全育成等に含まれていたものが、昨今は家庭での犯罪等が増えたりして見方が変わってきている部分である。</p>
	岩本委員	<p>グランドデザインにおいての各部の融合に関しては、学校、家庭、地域の連携強化として今年度より川俣小学校がコミュニティスクールのモデルとして行っているが、その取組の成果を得て、市内全ての学校に広げることも融合の取組の一例になると思う。</p>
	古市委員	<p>児童・生徒数の推移については随分前から意識しているが、日本の人口動態も然り、羽生市の児童・生徒数もある程度先まで予測できると思う。子どもの数が少なくなってから考えることもあるが、先を見越して、地域を通して考えられることもあるのではないかという気もする。地域のスポーツ団体も良い例であるが、どんどん子どもが減っていく中で、やむを得ず合併する、なくなってしまう団体もある。何年後にはこうなると予想がつくことについては、教育委員会がリーダーシップをとり、地域住民に情報を提供しながら共に将来を考えていくことも大事ではないか。</p>
		<p>現在は多くの公共施設が老朽化して、高齢者が離れたところに分散して暮らしている。この状況を改善しようと中心部に集めていく、コンパクトシティの考え方に国が動いていく可能性があると思う。まちづくりの考え方で施設等の統廃合の問題は性質が変</p>

会議事件名	て ん 末	
協議事項2 羽生市教育施設使用 協議（川俣小学校） について		<p>わる。教育委員会だけの問題ではなく、羽生市のまちづくりと連携して考えていかななくてはならないものだと思う。</p>
	教育長	<p>協議事項1については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1については、承認された旨宣した。</p>
	教育長	<p>協議事項2について、教育総務課長から説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>市長部局より川俣小学校校舎の一室を利用し学童保育室を開設したいとの協議書が提出された。校舎の建設時に国の補助金が交付されているため、目的外の使用をする場合は法律に基づく財産処分の手続きが必要となるが、全国的な児童・生徒数の減少に伴い、空いた教室の有効利用の観点から、緩和措置があり、財産処分は認められる見込みである。</p>
	教育長	<p>協議事項2に関して質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>協議事項2については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項2については、承認された旨宣した。</p> <p>協議事項3について、学校教育課長から説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
協議事項3 平成28年度埼玉県学力・学習状況調査結果及び学力向上に向けた今後の取組について	学校教育課長 教育長	<p>調査対象教科は国語、算数・数学、英語となっている。平成28年度の羽生市と埼玉県の調査結果を比較した。残念ながら全ての学年、全ての教科において県の平均正答率を下回った。本調査は個人の経年変化を迫る趣旨で始まったものであるため、当該学年の平成27年度の調査結果での県の平均正答率との比較を行い、その差がどう変化したかを分析した。国語では小学5年生、中学2年生で昨年度より県の平均正答率との差が広がり、小学6年生、中学1年生ではほぼ同等、中学3年生では差を縮める結果となった。算数・数学については、小学5年生、6年生、中学1年生で県の平均正答率との差が縮まり、中学2年生、3年生では差が広がった。昨年度の調査結果を受けて、昨年度後半に算数・数学に特化して各学校で重点を絞り、学力向上に取り組んだ成果と捉えるが、学年が上がるほど基礎基本がしっかりしていないと効果が現れづらいところである。英語では、中学3年生で県の平均正答率との差が広がってしまった。村君小学校と岩瀬小学校で英語教科に力を入れているため、子ども達が中学校に行ってから追跡調査をしていこうと考えている。</p> <p>国語においては、小学校では書く能力、中学校では、言語についての知識、理解、技能が課題である。算数・数学においては、小学校、中学校ともに数学的な考え方、知識、理解が課題である。英語については、コミュニケーションへの関心・意欲・態度、外国語能力の表現が課題である。</p> <p>今後の取組としては、夏季休業中に、埼玉県学力・学習状況調査と全国学力・学習状況調査の自校分析を基に各学校が「学力向上課題解決プラン」を作成し、教育委員会は「羽生市学力向上推進プラン」を作成していきたい。また、調査において正答率の低かった問題や、各校が重点取組みとして挙げた問題を中心にした算数・数学の「羽生市学力調査」2月に実施する。国語、英語についても各校の重点取組みをもとに課題解決に向けたPDCAを実施していく。</p> <p>協議事項3に関して質問・意見を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
	岩本委員	<p>先日、保育園に実習に来た高校生が受験生だったので、「受験勉強大変だね」と話したら、「これは僕達の将来に必要な事だからやっている」という答えが返ってきて、凄いと思った。学力向上のため色々な取組をすることは必要だが、その子の将来の人生において逆にマイナスになっても困る。子ども達が自分にとってプラスになるという意識を持ちながら勉強をしていくことができるよう子どもと関わっていくことが理想であり、その逆になってしまうと嫌な思いだけが残ってしまう。そのような配慮をしながら、学力向上に向けて努力していくことが必要であると思う。</p>
	古市委員	<p>平均が同じ点数でも、点数と人数をグラフ化した形状が山型になるのと谷型になるのでは対応の仕方が違うと思うが、そのようなことは把握できるのか。</p>
	学校教育課長	<p>県の学力・学習状況調査では、その子の苦手な所、できなかった所を改善していくため教科・項目ごとに細かくレベルが設定されている。最近の各学校の状況はM字型とよく言われて、上位層と下位層がそれぞれ多く、中間層にあたる子が少ない傾向にあり、そのことは各学校とも把握している。調査結果を踏まえて、授業や補助学習、あるいは学力アップ羽生塾等、個々の力を伸ばしていけるよう進めていく予定である。</p>
	学校教育部長	<p>M字型の下位層を伸ばして中間層まで引き上げること、もうひとつの特徴がM字型とはいえ、上位層が少ないことである。上位層も元気づけて、もっと難しい問題にもチャレンジできるよう育てないと厳しいという状況である。学力・学習状況調査では質問調査も同時に行われる。生活の様子や学習に対して子ども達がどのように考えているか、例えば、国語の勉強は必要である、算数の勉強は大切であるという質問に対し、羽生市の子どもは意外に意識が高い。しかし、学習はどのくらいしているかという質問になると、県や全国平均より学習時間は少ない。先ほど家庭教育の話題があったが、それも踏まえて家庭学習の指導もしていかなければならないと思う。</p>
	教育長	<p>各学校で実態を分析して対策を講じ、その対策の実行を助けら</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>れるよう教育委員会が関わっていければ良い。調査の本旨は、一人一人の学力の伸びをみるということであり、決して他と比較することではない。昨年度努力した成果が、算数・数学の小学5年生、6年生、中学1年生の結果に表れたということで、子ども達には少しの伸びも認め、励まし、先生方にも指導の効果があったことに自信を持っていただいて良いと思う。</p> <p>春山委員 学力テストはもちろん大事であるが、羽生の子ども達に合った学力、どこにも負けない子ども達であるという違う指針を作っても良い気がする。学力というものを広く捉えて考えてもいいのではないかと感じた。英語に関しても、分析をお願いしたい。</p> <p>学校教育課長 点数に現れる学力は大事であるが、合わせて学ぶ力や生きる力、という意味で羽生市教育委員会としては道徳教育に力を入れている。そのたくましが身につけば、学ぶ意味も分かり学力向上に繋がると思う。心も育て、学力も育てていきたい。</p> <p>柿沼委員 先生方は一生懸命指導してくれているし、春山委員が言った人物尊重も大事な事であると思う。ただ、結果が目に見えてしまう学力も真正面から捉え、羽生市の学力は低いと言われないように取組む事も必要だと思う。色々考えたが家庭教育は大事であると思うので、成功している自治体等があれば見に行き、勉強して家庭教育を「教育」してはどうか。</p> <p>春山委員 家庭教育についてだが、例えば子どもが自分で取組んで新出漢字を頑張って何ページも書いたとしても、本当にそれが力になるのかは疑問である。家庭がしっかりしていれば、この漢字はできているから次の段階にこういう指導ができると思うが、忙しくて勉強を見るどころではないという家庭も多いのではないかと感じている。全てを家庭の力に任せることなく、どのように学校や地域が支援できるのか。決して羽生の学力がこのままで良いとは思ってはいない。</p> <p>教育長 どんな子でもより良くなりたいと思っているのは確かである。その心を大事にして、目の前にいる教員がしっかりとその子を見</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>極めて、1 時間 1 時間大事に授業を行うことが何よりも大切だと思う。人間は一日経つと忘れてしまうので、家に帰って復習することで、定着していく。他県では、教育委員会と P T A が連携して、家庭教育の在り方を考え、水曜日はノーテレビデーにする等の行動を起こすことで各家庭の意識を高めていると聞く。迷っている子が 1 人でも 2 人でも、少しでも学力を伸ばせる方法を考えていくことも大事ではないかと思った。</p> <p>岩本委員 以前新聞に、先生が忙し過ぎてドリルの丸付けができないから、家でやってもらうという記事が載っていた。家庭教育は大事であると思うが、時間的な面で言うと、今後 50 年くらいは人口が減少するとの事だが、それはつまり、労働力が不足するということがある。女性の社会参画が促されているが、家庭の中は非常に忙しい状態で、ドリルの丸付けなどする時間が無いかもしれない。家庭教育に何を期待するかを考えた場合、先生がやりきれない労力の移管先のような役割ではいけないと思う。</p> <p>古市委員 人の習慣を変えることは本当に難しい。他人から言われたのではなかなか変わらない。誰かの意見を受け入れるには、それに強いモチベーションを感じたり、自分に得であると考えたりして、自分の考えとして定着させることができる。学校の先生が、子どもを変えようとした時には、その子どもとの信頼関係を築き、どれだけ一生懸命やっているかを伝えることが基本である。厳しくすると批判されたりする時代であり、遠慮しながら接する形になってしまうこともある。子ども達にどうしたら伝わるか、先生方は悩みを抱えながら、一生懸命やっていると思う。予防歯科の場合は、技術より人間学が大切であるが、学校現場でも本質は同じなのではないかと思う。</p> <p>教育長 協議事項 3 については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>教育長 協議事項 3 については、承認された旨宣した。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>協議事項4 羽生市特別支援教育 就学奨励費支給要綱 の一部を改正する要 綱（案）</p> <p>日程第4 議案第43号 羽生市教育委員会教育長の 海外渡航に伴う職務代理者 の設置基準を定める規程</p>	教育長	協議事項4について、教育総務課長から説明を求めた。
	教育総務課長	マイナンバー法の施行に伴い、就学奨励費の支給に係る支弁区分の決定にマイナンバーを利用することとなっている。マイナンバーの適正な取扱と申請者及び学校の負担軽減のために、申請書を直接教育総務課に提出すること、就学奨励費を受給者の口座に直接振り込むこととするため、要綱を改正するものである。
	教育長	協議事項4に関して質問・意見を求めた。 特になし
	教育長	協議事項4については、よろしいか。 異議なしの声あり
	教育長	協議事項4については、承認された旨宣した。
	教育長	議案第43号について教育総務課長から説明を求めた。
	教育総務課長	世界的に通信インフラが発達したことで、昨年市長部局において市長の海外渡航に際し滞在先の状況により職務代理者を置かない旨の規程を定めた。教育長の海外渡航においても市長と同様の取り扱いとする規程を新規に制定するものである。
	教育長	議案第43号について意見・質問を求めた。 特になし
	教育長	議案第43号については、よろしいか。

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第44号 羽生市教育施設管理用カメラの設置及び運用に関する規則の一部を改正する規則</p>	教育長	<p>異議なしの声あり</p> <p>議案第43号については、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>議案第44号について教育総務課長から説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>市内小中学校に防犯カメラシステムを導入することに伴い、設備及び記録画像を適正に管理していくため、設置場所、総括責任者、管理責任者を定めるため、規則を改正するものである。</p>
	教育長	<p>議案第44号について意見・質問を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>議案第44号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第44号については、可決された旨宣した。</p>
	教育長	<p>議案第45号について学校教育課長から説明を求めた。</p>
	学校教育課長	<p>いじめ問題調査審議会は、設置して3年目となる。任期は2年、委員5名のうち4名は再任、1名が新任である。委員は弁護士、精神科医、臨床心理士、児童福祉施設長、PTA連合会からの推薦という構成である。審議会は年に1回開催する他、重大案件が発生した際には臨時で開催することになっている。</p>
	教育長	<p>議案第45号について意見・質問を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
		特になし
	教育長	議案第 45 号については、よろしいか。
		異議なしの声あり
	教育長	議案第 45 号については、可決された旨宣した。
	教育長	次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。
	教育総務課長	9 月定例教育委員会は 9 月 23 日午後 1 時 30 分より教育委員会室にて開催する。
	教育長	閉会を宣した。
		教育長 _____
		委 員 _____
		委 員 _____
		書 記 _____